

週刊

# 愛知民報

2023年  
7月2日  
第2639号

発行所 **日本共産党愛知県委員会**  
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
☎(052) 261-3461 (代表)  
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063  
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円  
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

通常国会が閉会し、次の総選挙で定数21の比例東海ブロックで2議席をめざし日本共産党への支持を呼びかける(前列左側から)すやま初美党愛知県副委員長、もとむら伸子衆院議員(ともに比例東海ブロック予定候補)、えがみ博之前名古屋市長(衆院愛知5区予定候補) 11月6日、名古屋駅前



# 比例代表は 日本共産党

## 総選挙躍進と「130%の党」実現へ大運動

# 「党の未来にとって、どうしても必要」

### 愛知 青年・学生、真ん中世代、現役の入党すすむ

#### 先輩の熱い思いに応え

尾張中部地区で10代の専門学校の民青同盟員が入党を決定。昨年の参院選の名古屋駅前宣伝で民青に加盟。当時は高校3年生で私学助成増額やウクライナ侵略反対デモなどに取り組んでいました。

2月に入党の訴えを受けた際「共産党の活動をしている人の話を聞きたい。それで判断したい」と表明。渡辺まい子北名古屋市長や地区常任委員らが自らの黨員人生について「この生き方で良かった。間違いなかった」と語ると入党を決意しました。

#### ネットで党と出会い

豊橋市で党を迎えた20代の青年は、今の日本社会に「生きづらさ」を感じていて、職場の仲間や社会のことに不満を言うのは「おかしい」と言われ、その後、政治に関心を持った人でした。

4月の名古屋市長選で名東区の候補者・鈴木絢子さんのSNSから「同世代で、今でも生きづらさを感じているので政治を変えるために自分も関わりたい」とサポーター登録。しかもおく奈歩県議と鈴木さんがすすめ、民青に加盟し入党しました。

日本共産党は24、25の両日、第8回中央委員会総会を開催し、今春の統一地方選挙の結果と総括、総選挙躍進にむけた方針を決め、「第29回党大会成功、総選挙躍進をめざす党勢拡大・世代的継承の大運動」をよ

#### 日本共産党 第8回中央委員会総会

びかけました。

愛知では、統一地方選挙後、青年・学生や職場の現役労働者ら「真ん中世代」が日本共産党に入党しています。「大運動の足がかりはある」との確信が広がっています。

#### 民間の現役労働者が

民間職場の党支部で50代の現役労働者が入党。たまたか労働組合の組合員でした。

同党支部は「手紙」と「返事」の討議で「1年で130%なんてできない」との意見もありましたが正面から討議し「黨員を2人増やせば達成だ」と130%の党づくりに足を踏み出しました。さらに支部は「職場には要求がある。労働者の変化もつくれる」「この人たちが党を迎えよう」と、相手の都合にあわせて「党を知る会」をくり返し開催しています。

#### 日刊紙読者みずから

豊川市で4月市議選で選挙活動の担い手となった50代の「しんぶん赤旗」日刊紙読者を党に迎えました。

先日の豪雨で被災し、安間寛子市議が罹災証明書受付会場に同行しました。

安間市議が「共産党の活動は、力を合わせて生きる仲間を増やすことです」と呼びかけると若い息子が入ってほしいと思っていたが、まず私から入党を決意。息子さんに渡す「入党呼びかけパンフ」も受け取りました。